

記入例

令和6年度 安全衛生管理活動計画表

所属する団体【必ずを付けてください】【基準協会・建災防・陸災防・林災防・ボイラ・建荷協・未所属】
 所属団体への写しの回送【必ず〇を付けてください】【1 回送可 2 回送を希望しない(未所属含む)】

1) トップの基本方針 休業4日以上労働災害ゼロ、メンタルヘルス対策の実施、転倒災害の撲滅を目指す		2) 事業場名及び代表者氏名 名称 (株) 職氏名 長		3) 所在地・電話 所在地 市 町 - () -		4) 労働者数 ほかに 構内請負 社 名		5) 労働災害発生状況 年 別 休 業 休 業 不 休 計 4 日 以 上 1 ~ 3 日 災 害 令和5年 令和4年 令和3年													
6) 安全・衛生委員会 委員長職氏名 長 構成委員数 名 うち労働者側推薦 名		7) 総括安全衛生管理者 職氏名 長		8) 安全管理者又は安全衛生推進者 職氏名 長		9) 衛生管理者又は衛生推進者 職氏名 長		11) 産業医 医院 氏 名 令和5年度職場巡視回数 回		12) メンタルヘルス対策の取組状況 (該当するもの全てに を付けてください) ア ストレスチェック制度の実施 イ 衛生委員会等での調査審議 ウ 事業場における実態の把握 エ 「心の健康づくり計画」の策定 オ 事業場内メンタルヘルス推進担当者の選任 カ 教育研修の実施 キ 現在取組んでいないが、今後取組む予定 ク 今後も取組む予定なし		13) 治療と仕事の両立支援等 治療と仕事の両立支援などの活動支援について、福井産業保健総合支援センターの利用を希望する場合は、右欄に の記入をお願いします。所轄の労働基準監督署に提出いただいた後、福井産業保健総合支援センターに写しが回送され、後日、衛生管理者等あてに、ご連絡します。							希望する場合 〇 治療と仕事の両立支援やメンタルヘルス対策の支援を希望する		
前年度具体的実施結果		評価	安全衛生管理項目	具体的実施事項		実施担当者 (部署)		年 度 ス ケ ジ ュ ー ル													
								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
安全衛生教育実施月: 4、7月(雇入れ時)、 月、月 免許試験・技能講習・特別教育受講等状況 (月()、月()、月()) その他: 月(職長・安全衛生責任者教育)、 月(能力向上教育)		A	安全衛生教育の実施 雇入れ時教育、職長教育、安全管理者選任時教育等を含む	目標: 安全衛生教育の確実な実施及び有資格者の増加 計画事項: 雇入れ時教育については4月(及び適宜)行う 外部機関の行う職長に対する教育を に受講させる 再雇用により経験のない業務に従事する者に対する特に丁寧な教育訓練を実施する				雇入時教育 再雇用者教育		熱中症教育	雇入時教育(アルバイト)	免許試験() 職長教育		腰痛防止教育	管理者教育			フォーク技能講習			
4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動の実施: 月 転倒しにくい作業方法の実施: 月 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起: 月		A	転倒災害の防止 4S活動の実施、耐滑靴の導入を含む	目標: 転倒災害「ゼロ」 計画事項: 4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動の実施 転倒しにくい作業方法の実施 「危険の見える化」転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起				安全教育	ステッカー注意喚起		4S活動	作業靴の総点検		耐滑靴の配布	冬期転倒災害防止	冬期転倒災害防止	冬期転倒災害防止				
職場環境の点検による施設・設備の改善箇所の決定: 月 身体機能の低下を補う設備・装置の導入: 全 箇所 中 箇所実施		A	高齢労働者の安全と健康確保対策 エイジフレンドリーガイドラインに基づく対策	目標: 身体機能の低下を補う設備・装置の導入箇所の増加 計画事項: 前年度決定した職場環境の改善箇所の改善措置の実施 ゆとりある作業スピード、無理のない作業姿勢等に配慮した作業マ					作業箇所の設備の改善	作業マニュアルの策定(作業)							作業箇所の設備の改善	作業マニュアルの策定(作業)			
機械・設備に係るリスクアセスメント実施月: 月 機械・設備の年次点検実施月: 月		A	機械・設備の適正管理 危険箇所の「見える化」、荷役作業場所の整備を含む	目標: トップ自らによる職場巡視等により、安全意識の向上を図り、労働災害を発生させないようにする 計画事項: トップ及び管理者による職場内巡視を四半期に1度行う 年に1回リスクアセスメントを行う 「危険の見える化」を進めていく				巡視(トップ)	見える化運動	年次点検(フォーク)	安全週間 巡視(トップ)		荷役作業総点検	巡視(職長)	見える化運動	巡視(トップ)	リスクアセスメントの実施	年次点検(プレス)			
化学物質のリスクアセスメントの実施: 月 SDSを活用して教育・研修等を実施: 月		C	化学物質管理 化学物質のリスクアセスメントに基づく自律的な管理を基軸とする新たな化学物質規制への移行に向けた取組	目標: 化学物質による中毒等をおこさない 計画事項: 化学物質法改正の教育の実施 化学物質のリスクアセスメントの実施 SDSを活用して教育・研修等を実施する 化学物質管理者等の選任				教育・研修	リスクアセスメント実施	化学物質管理者の選任	保護具着用管理責任者の選任		作業環境測定								
「心の健康づくり計画」策定年月: 未策定 メンタルヘルス担当者: 課長 実態把握: 月 内容: (自己点検票の配布及び回収) 教育研修の実施状況: 月 内容: (を対象に、外部講師を招いての座学)		B	パワーハラスメント防止を含むメンタルヘルス対策 ストレスチェック制度の実施含む(50人未満は努力義務)	目標: メンタル不調による休職者を出さない 計画事項: ストレスチェックの実施 安全衛生委員会で審議を行う ラインによるケアの充実のため管理職に対し研修を行う 面接指導の実施 職場分析と職場環境の改善								ストレスチェック	面接指導	職場分析	管理者教育				自殺予防対策月間		
一般健康診断実施月: 月、月(深夜勤のみ) 特殊健康診断実施月: 月、月(有機溶剤) 腰痛予防健康診断実施月: 月 医師の意見聴取: 実施(対象者 名) 健康教育等の実施状況: 無し		B	労働者の健康管理対策 健康診断の実施、受動喫煙防止対策等を含む	目標: 一般定期健康診断における有所見者数を増加させない 計画事項: 法定の健康診断についてもれなく実施し医師の意見聴取についても確実に実施する 長時間労働者に対する医師による面接指導を確実に実施する 受動喫煙防止対策を実施する		長時間労働者の面接指導(毎月 日)		腰痛予防健診(介護・重量物取扱者)				定期健診(全員) 特殊健診(有機)人	労働衛生週間	受動喫煙防止対策				定期健診人 特殊健診(有機)人			

注1) 「1) トップの基本方針」欄は、当該年度において事業場(企業)のトップが、安全衛生確保についてどのような方針で臨むのかを記入して下さい。
 注2) 前年度「評価」欄は次によって下さい。(A: 計画通りに実施 B: 一部計画が未実施 C: 計画がほとんど未実施)
 注3) 今年度「具体的実施事項」欄のうち、「目標」には前年度「評価」を受けての今年度の目標を、「計画事項」には前年度計画の未実施事項を含め、今年度実施を計画する事項を記入して下さい。
 注4) 記入欄の大きさが不足する場合には、適宜、別紙を作成して添付して下さい。